

# みんなの 町議会

第25号

平成23年1月15日

広島県

じんせきこうげんちょう  
神石高原町

輝く笑顔！  
「みつばち姫チーム」



ごはんDE笑顔プロジェクト選手権」決勝大会開会式（東京）「油木高校産業ビジネス科」

■町議会、新体制でスタート	2
■借金を繰り上げ償還（補正予算）	5
■地域再生基金条例を制定（条例制定）	6
■豊松地区の医療体制は（一般質問）	8
■「油木高校ミツバチプロジェクト」（特集記事）	14
■高蓋地区を発展させる会（元気なグループ紹介）	16

# 神石高原町議会

# 新体制でスタート



松本彰夫副議長



片山元八郎議員



小林貢議員



瀬尾征爾議員



藤田晃己議員

委員長 佐伯卓師  
副 " 小林貢  
村上克朗  
木野山孝志  
寄野山孝幸

委員長 木野山孝志  
副 " 村上克朗  
岡崎元八郎  
片山元八郎  
小林貢  
佐伯卓夫  
丸山達夫

委員長 藤田晃己  
副 " 寄野山孝幸  
松本彰夫  
瀬尾征爾  
小川清治  
橋本輝久  
横尾正文

委員長 寄野山孝幸  
副 " 木野山孝志  
小林貢  
小川清治  
橋本輝久  
横尾正文

議会運営委員会

総務文教常任委員会

産業建設常任委員会

議会広報広聴調査特別委員会

## 委員会構成が変わりました



新年の  
あいさつ  
議長

謹んで新年の御祝詞を申し上げます  
町民の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。  
昨年中は何かとお世話になりありがとうございました。  
神石高原町が誕生して七年目となりました。神石高原町議会といたしましても『人と自然が輝く高原のまち』の実現を目指して、皆さんと共に『小さくても元気のであるまちづくり』を進めてまいりたいと思います。町民の皆様方の御期待に応えるよう、本年も力いっぱい頑張りますので、旧に倍する御支援・御協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます新年のあいさつといたします。

神石高原町議会議長 岡崎 奠

# 12月定例会

12月定例会は、12月9日から、21日まで開かれました。  
 今回の定例会(第10回)では、平成22年度一般会計ほか各特別会計補正予算(12月補正)、神石高原町地域再生基金条例の制定・神石高原町教育委員の任命同意など22議案を原案のとおり可決、TPP交渉に反対する意見書の提出、国定公園帝釈峡遊歩道復旧整備に関する請願など7件を採択しました。  
 一般質問では、12人の議員が、当面する行政課題をただし

# 女性委員を推薦

## 農業委員会委員

### 女性の視点で

## 農業の活性化を

神石高原町の基幹産業である農業を強化し、地域・集落の維持存続を図るには、新しい視点からの提起と施策の立案が出来るよう、神石高原町農業委員会組織拡大と強化が必要です。

農業における女性の役割は、年々大きくなっています。特に、経理・加工・販路拡大などの重要な部分や、食の安全・安心、食育の推進など、多くを女性が担っています。

よって、農業技術・農業経営の改善合理化・農村の活性化・農産物の販売流通などの学識経験を有する女性農業者4人を推薦しました。

議会で推薦した農業委員は次の方々です。

- 今井 ゆきみさん(油木)
- 圓道 タミ子さん(神石)
- 小田 千寿香さん(豊松)
- 小川 玲子さん(三和)



寄定秀幸議員



村上克朗議員



小川清治議員



木野山孝志議員



橋本輝久議員



佐伯卓師議員



横尾正文議員



丸山達夫議員

## 神石高原町の医療を考える集いを開催

日時 平成23年  
**1月21日(金)**

受付開始 15:00~

場所 三和の森リゾート&カンファレンスセンター  
 (神石高原町時安 5090 番地 TEL85-3000)

主催 神石高原町議会  
 (神石高原町地域医療を見守る特別委員会)

共催 神石高原町  
 社会医療法人社団 陽正会  
 神石高原町立病院を守る会

本町の医療を取り巻く状況は、全国的な医師不足に加え診療所の閉鎖など極めて厳しいものがあります。  
 「神石高原町地域医療を見守る特別委員会」では、この度、全国市町村国際文化研修所のご協力により、自治医科大学から二人の講師を招き、「神石高原町の医療を考える集い」を開催します。



# 12月補正予算質疑

## 福祉課

**保育所の改修・安全対策は「きめ細かな交付金」で**

**寄定議員** 保育所の改修事業720万円の詳細は。  
**福祉課長** 平成23年度から2歳児保育を開始する「くるみ保育所」の保育室改修工事費520万円・備品購入費120万円と「豊松保育所」の扉を安全性の高いものに変更する80万円である。

**寄定議員** 安全対策など迅速な対応であるが、他の保育所の施設整備や危険箇所への対応はどうするのか。  
**福祉課長** 他の保育所の施設整備や安全対策なども「きめ細かな交付金」を活用し、1月補正で対応したい。

## 産業課

**集落法人支援事業の減額理由は**

**木野山議員** 法人総合活動支援事業において、集落法人設立に対する支援が何故減額なのか。  
**産業課長** 父木野地区の法人計画が設立に至らなかったため600万円減額。神石の吉ヶ迫法人の施設設計計画が急ぎよ取りやめとなったので500万円減額。豊松の寺谷地区の新たに設立した法人への補助が30万円増額である。

**木野山議員** 堆肥施設整備事業で、①コンポ(発酵機)の修理とは。②堆肥センターの使用状況は。  
**産業課長** ①切田の堆肥センターのコンポは袋詰めをするための機械で、耐用年数を越えて古くなったので修繕が必要だ。

日常発生をしている鶏糞などの処理のため稼働している。  
 ②鶏糞販売については、牛糞ほど売れないが、堆肥センター運営協議会でも協議し、町外への販売や法人などにも使用を促すなど鋭意努力をしている。

## 教育委員会

**グラウンドの活発な使用による電気料金増額**

**橋本議員** 三和、来見、仙養グラウンドの電気料金がなぜ増額となったのか。  
**活発なグラウンド使用は青少年健全育成の観点からも良いことだ。**

**教育課長** 青少年スポーツ団体や消防団などが利用する夜間照明の電気料金が増額となった。

**備品搬送経費は適正か**

**瀬尾議員** 統合三和小学校へ三和・高蓋・二幸小学校から机・イス・

**耐火金庫・ピアノなどを専門業者により搬送する経費80万円は適正か。**  
 ②工事完了から開校まで日数が少ないが搬送は開校に間に合うのか。

**教育課長** ①概算の見積もりである。主な備品を専門業者で搬送し、細かな手数のいるものは保護者の協力を得て搬送する。②短期間での搬送であるが、保護者や専門業者の協力で開校に間に合わせる。

## 病院事業室

**医師確保への支援は**

**木野山議員** 広島県緊急医療支援市町交付金事業における314万5千円の補正は、他の医療機関から医師の派遣を受け入れるための賃金や旅費などの助成となっている。①他機関とはどこか。②また医師の派遣は医師確保が問題である、その見通しは。

**病院事業室長** この事業は今年度限りである。

①他の機関というのは町立病院に医師派遣を頂いている広島大学、県立広島病院である。派遣医師の旅費、賃金についても補助の対象となる。  
 ②この事業は今年度限りとなっているが県は次年度もこれに見合う事業を行う予定であり本町も実施する。医師の確保についてはこの事業に関係なく努力していきたい。

**木野山議員** この度、豊松地域の民間診療所の休院という事態が発生したが、この事業で医師の確保に努めて頂きたい。  
**病院事業室長** この事業は、対象診療科が(整形外科、眼科、呼吸器内科)となっており、豊松地区の内科の派遣はこの事業の対象となっていない。



神石高原マルシェ (182 ステーション)

# 借金を繰り上げ償還！〔3億3969万円〕、2700万円のメリット！ 「かがやきネット」運営基金、「地域再生基金」に各5000万円積み立て！

## ○一般会計

歳入歳出補正予算額 4億2280万円 補正後予算額 123億2765万円 (万円未満四捨五入)

費目	補正額	補正後予算額	主な内容
議会費	32万円	7600万円	議員人件費、職員人件費を減額し、議会経費120万円を追加補正
総務費	774万円	15億6582万円	町長等特別職人件費および職員人件費を減額補正、雇用対策基金事業200万円 地域活性化交付金事業(きめ細かな交付金)1130万円
民生費	2782万円	17億2618万円	福祉医療経費649万6千円、障害者介護給付・訓練給付事業1559万円
衛生費	684万円	9億7733万円	職員人件費を減額補正、予防接種事業345万円、飲料水確保事業300万円、 病院事業会計補助210万円、小型合併処理浄化槽設置補助157万円
農林水産費	△723万円	9億3332万円	職員人件費を減額補正、農村地域総合推進事業△470万円、広島島の森づくり 事業△360万円、畜産振興施設整備事業225万円
商工費	△128万円	1億781万円	職員人件費を減額補正
土木費	△5155万円	5億4020万円	職員人件費△58万円、社会資本整備総合交付金事業△5106万円
教育費	56万円	17億8289万円	教育長人件費、職員人件費を減額補正、統合小学校建設事業80万円
公債費	3億3970万円	26億4792万円	長期債元金繰り上げ償還3億3969万円ほか
諸支出金	9989万円	10億1662万円	ふるさとふれあい事業基金積立経費△12万円、かがやきネット管理運営基金 積立経費5000万円、地域再生基金積立経費5000万円
合計	4億2280万円	123億2765万円	

特別会計ではほとんどが事業確定による精算補正と職員給与減額補正で、  
病院事業会計では高度な血液検査が可能な自動分析装置が導入されました。  
各会計補正金額の明細は表の通りです。

平成22年度一般会計・特別会計・病院事業会計12月補正 (万円未満四捨五入)

会計名	補正予算額	補正後予算額	主な内容	
一般会計	4億2280万円	123億2765万円		
特別会計	国民健康保険	347万円	11億8512万円	職員人件費△106万円、総務一般管理経費404万円
	後期高齢者医療	608万円	4億7178万円	後期高齢者医療広域連合納付経費608万円
	老人保健	—	1044万円	
	介護保険	18万円	18億8319万円	職員人件費減額、介護保険審査会経費54万円
	簡易水道事業	752万円	3億8104万円	職員人件費減額、施設維持管理経費623万円、一般会計繰出経費142万円
	飲料水施設事業	—	4190万円	
	農業集落排水事業	886万円	2億5907万円	職員人件費減額、施設維持管理経費896万円
	分収育林事業	—	10万円	
	総合開発事業	180万円	2700万円	消費税納付経費180万円
	合計	2791万円	42億5965万円	
病院事業会計	210万円	1億7820万円	指定管理者への交付金△105万円、補助金315万円、 血液自動分析装置導入982万円	
合計	4億5281万円	167億6550万円		

## 12月補正予算

一般会計では4億2280万円増額補正され、総額で123億2765万円となりました。  
一般会計補正予算の主なものは、借金の繰上償還に3億3969万円、「かがやきネット運営基金」と「地域再生基金」にそれぞれ5000万円の積立。  
その他では11月の臨時会で可決した職員給与や特別職、議員報酬、  
2188万円、社会資本整備総合交付金事業5106万円を減額補正し、きめ  
細かな交付金事業1130万円が追加補正となりました。  
全会計の総額は、167億6550万円となりました。

# こんなことが決まりました

## 人権擁護委員の推薦

全会一致

赤木千恵子さんを再任  
任期＝法務大臣が委嘱した日から3年間

## 神石高原町農業委員会委員の推薦

全会一致

全員女性を推薦(議会推薦枠4名)  
任期＝平成22年12月19日から3年間

## 神石高原町固定資産評価 審査委員会委員の選任同意

全会一致

宇賀拓郎さん・黒川 勝さん  
川上忠義さん・江草忠行さん  
任期＝平成22年12月23日～平成25年12月22日

## 神石高原町財産区管理委員の 選任同意(来見財産区)

全会一致

宮本正道さん  
任期＝平成22年12月10日～平成23年10月14日

## 新たに制定

## 神石高原町地域再生基金条例

全会一致

神石高原町の基本理念「人と自然が輝く高原のまち」を築くために、地域の活力を維持再生する施策に必要な財源に充てるために設置。

## 町長・副町長の給与及び 旅費に関する条例

全会一致

井関総合開発事業の消費税申告で過少申告加算税を徴収されることに伴う処分。  
平成23年1月分の給料を10%減額。

## 条例一部改正

## 神石高原町重点公共施設 整備基金条例

全会一致

果実運用型から処分運用型に改正  
①神石高原町重点公共施設新設整備基金条例  
②神石高原町ふるさと・水と土の保全基金条例  
③神石高原町かがやきネット管理運営基金条例

## 仙養ヶ原森林公園に ドッグラン施設を新設

全会一致

☆ドッグラン3時間＝850円、以降1時間につき200円  
☆ドッグラン管理施設、1日あたり犬1頭につき1,000円  
☆ 〃 〃 宿泊、1泊あたり犬1頭につき2,000円  
管理者＝「NPO法人ピースウインズ・ジャパン」  
代表・大西健丞

## 工事請負契約の変更

### 町道仁後線道路改良工事

全会一致

変更内容＝切土法面に亀裂が見られ表層崩落が予想されるため、植生基材吹付工による法面工を法枠工に変更。

請負者＝株式会社後藤組  
請負金額＝64,050,000円→70,014,000円  
工期＝平成23年2月28日→3月31日

### 豊松小学校耐震補強工事

全会一致

変更内容＝玄関の雨漏り修繕・職員室床下ランケーブル設置

請負金額＝77,280,000円→77,960,400円  
請負者＝宮田建設株式会社  
工期＝平成22年8月4日～平成23年1月31日

### 統合三和小学校校舎等新築工事

全会一致

変更内容＝通学バス車庫新設・外灯・校内電話機器設置・進入路法面保護など追加工事

請負金額＝679,576,800円→723,305,100円  
請負者＝三島産業(株)・安田工業(株)統合三和  
小学校建設工事共同企業体  
工期＝平成23年3月10日→3月25日



仙養ヶ原に災害救助犬の訓練センターがオープン。地震や災害、紛争など、がれきの下から人を救い出す災害救助犬に訓練・育成する。  
(写真は佐野(左)・藤崎(右)、両トレーナーから訓練を受ける子犬たち)

# 議員発議及び請願

## 国へ

### 意見書を提出しました

身近な地域で出産出来る助産システムの実現と妊婦検診  
出産費の公費負担による無料化を求める意見書

全会一致

提出者…松本彰夫  
賛成者…寄定秀幸

出産は母体と胎児の命にかかわる極めて重大な問題である。安心して出産できる助産システムを作るとともに、妊娠から出産にかかる費用は国の責務において公的保障とすること。

生産者米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書

全会一致

提出者…佐伯卓師  
賛成者…松本彰夫

昨年政府が適切な対策を取らなかったために、国民の主食の安定供給を困難にし、政府が進めている戸別補償モデル事業さえも台無しにする。米の生産者価格の安定・回復のため、生産者米価の下落対策を直ちに講ずること。年産に問わず40万ト程度の緊急買い入れを行うこと。ミニマムアクセス米の輸入量を削減すること。

肉用牛売却所得の課税の特例措置の継続を求める意見書

全会一致

提出者…木野山孝志  
賛成者…横尾正文

政府は、昭和42年から畜産農家に対し、肉用牛の売却による農業所得の課税の特例措置をしてきたが、民主党税制改正プロジェクトチームは平成24年以降、課税の特例措置を縮減すると政府に提言した。これにより、畜産農家の激減と農業所得の減少から地域経済が疲弊し、神石高原町全体の活力が低下しないよう特別措置の継続を要望する。

ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）総合対策を求める意見書

全会一致

提出者…寄定秀幸  
賛成者…小川清治

厚生労働省はHTLV-1抗体検査を公費負担の対象とし、全国で感染拡大対策が実施される。そのためには、医療関係者や保険担当者を対象の研修や検査体制、保健指導・カウンセリング体制整備、キャリア妊婦の相談体制の充実、診療拠点病院整備、予防・治療法の研究開発、国民への正しい知識の普及啓発などの総合的な対策推進を要望する。

TPP交渉に反対する意見書

全会一致

提出者…藤田晃己  
賛成者…寄定秀幸

政府は例外なき関税撤廃を原則とするTPP（環太平洋連携協定）に対して、関係国との協議を開始すると決定した。全ての農産物関税が撤廃されれば、我が国の食料・農業・農村に壊滅的な打撃を与えることとなる。国土と産業の均衡ある発展のためTPP交渉に参加しないこと。各国・地域とのFTA・EPA交渉は、食糧需給に関する国民の懸念、国土の保全に十分配慮し、農林産物の例外品目、十分な国内対策等、国内の関係品目に影響が生じないよう強く要望する。

### 請願を採択しました

国定公園帝釈峡遊歩道復旧・整備に関する請願

請願者 神龍湖振興研究会 会長 榎木 晃  
紹介議員 寄定秀幸 佐伯卓師 丸山達夫 横尾正文 木野山孝志 小川清治  
橋本輝久

全会一致

請願趣旨 『帝釈峡遊歩道の復旧及び整備を早期に実施されるよう国、広島県並びに関係機関に対し、強く要請して頂きたい』

- ①遊歩道の復旧及び安全対策工事の実施
- ②柏岩橋及び幕岩橋の強度調査並びに安全対策工事の実施
- ③既設遊歩道の復旧及び安全対策工事の困難な場合、代替新規ルートや渡船によるルート導入等の具体的な開発調査・研究
- ④地元ボランティアによる遊歩道内での落石・倒木撤去及び清掃活動等への許可

一般質問

あなたの声を町政に

一般質問は、一人30分  
一問一答方式で行いました

問 豊松地区の医療体制は



松本彰夫議員

答 可能な限り町立病院で対応する

**Q** 豊松地区の三原医院が、今年限りで休診される。

**A** 町立病院を中心に、豊松地区の医療体制をどのように確保するのか。

**町長**

入院の必要な人は入院してもらって対応する。他の人も町立病院で出来る限り対応する。

**Q** 訪問診療、訪問介護を受けておられた人はどうするのか。

**A** 町立病院の訪問看護は、外来の看護師が行っているが対応できるのか。

**また、三原先生が書いておられた訪問診療の指示書も町立病院で対応できるのか。**

**A** 病院事業室長  
三原先生の紹介状を

見ながら町立病院で対応する。訪問看護も、週1回の人と、2週間に1回の人があるので検討して対応する。

**Q** 今年、井関地区に診療所を開設する話があったがなぜやめたのか。

**町長**

町立病院が軌道に乗り始めた時であり、思いを伝えた結果、とどまる

に至った。

**Q** 医師の確保は指定管理者の条件であった。陽正会も努力すべきでは。

**副町長**

陽正会にも、そのことは強く求めている。くるみ保育所の2歳児保育は、いつから実施するのか。

**町長**

来年度、実施する。2歳児保育をおこなうための環境整備と保育士の確保は。

**福祉課長**

12月の補正予算に計上する。保育士については臨時職員で対応する。

問 徴収業務の具体的成果は



横尾正文議員

答 75人の完納が大きな成果

**Q** 嘱託職員による徴収業務の具体的成果は。また収納計画の説明を。

**住民課長**

滞納処分については、国税還付の差押えが1件、預金の差押えが13件、本町では初めてだが、土地の差押え1件を含めて全体で15件である。また滞納繰越221人中75人が完納した。

収納計画は、今年度分において、新たな滞納者を作らないことを目標に取り組む。

**Q** 油木百彩館の中華料理店の撤退後の対策は。

**町長**

現在出店者を募集している。また、駐車場の整備を新年度の予算で取り組みたい。

**Q** 産直市場で他地域の商品が幟を立てて販売されていると聞くが本当か。

**町長**

まるごと市場で世羅町内の豆腐を販売している。現在幟は撤去している。

**Q** 商品はまだ販売しているのか。販売しているとしたらアンテナショップとしていかがかな

**A** 町長  
本年度分から委託料

ものか。

**産業課長**

販売している。

**町長**

アンテナショップの目的に反しているので私としては許すわけにはいかない。

**Q** 来年度、クリーンセンター神石の委託業務の見直しはあるのか。

**A** 町長  
本年度分から委託料



百彩館

の積算方法の見直しをしている。報酬に関しては、さらなる調査で適正に対応したい。



**問** 第3セクター運営は

小川清治議員



**答** 消費者ニーズに応える

**Q** 町長就任後、民間活力で第3セクターを元気にするとの考えで、代表取締役を民間人に順次委ねられてきた。道の駅182ステーションの代表取締役も本年2月までは民間人であったが、後任は副町長である。

**A** ①方針を変更したのか、今後の考え方は。  
②道の駅182ステーション運営の改革方針と具体的な内容は。

**Q** 町長就任後、民間活力で第3セクターを元気にするとの考えで、代表取締役を民間人に順次委ねられてきた。道の駅182ステーションの代表取締役も本年2月までは民間人であったが、後任は副町長である。

**A** 町長 私は選挙で選ばれた者であり官ではなく民である。前社長の辞意により、民間や役員、出荷者協議会に打診したが誰もおられなかったので役員会で副町長に決まった。理念は生産者サイドの考えでなく消費者ニーズに応えていくことだ。売上を伸ばすための職員体制や人事配置を行う。出荷者組合も時代感覚を養ってほしい。

**Q** 役員会で大手コンビニ二出店の提案があったがその目的は。

**A** 副町長 町の活性化を目的に先般ローン本社に誘致のお願いに行った。

**Q** 設置場所と経営は。

**A** 副町長 道の駅に設置し経営は道の駅182ステーションがすればと思う。市場調査はしたのか。

**Q** 副町長 していないが、ローン社長室長と町内を視察した。

**Q** 不採算でも出店するのか。また地元出荷者への影響が懸念されるが。

**A** 副町長 新しい形態のローンを展開したい。地元産品もローンで販売してほしい。また、買い物弱者への対応として商品の宅配や地元特産品の全国販売へとつなげたい。



道の駅でのマルシェ

**Q** 町の活性化につながるいいことだが、それには多くの問題克服に協議調整が必要では。

**A** 副町長 調査検討中でまだ決定していない。関係者と十分に協議して取り組む。

**問** 無医地区の解消を

橋本輝久議員



**答** 極めて困難、医師確保が最優先だ

**Q** 豊松で開院されている三原先生が12月末をもって休診すると表明され、住民は大きな不安を抱いている。無医地区の解消に向け、診療所を設け、受診できるようにすべきでは。

**A** 町長 医師の確保が最優先だ。現在町立病院での医師確保ができていない状況だ。陽正会に対し、更なる医師確保のお願いをする。私の政治生命をかけ、

最善の努力をする。

**Q** 現在、三原医院で受診されている方、特に訪問診療をされている方への対応は。

**A** 町長 町立病院で対応するべきと考えている。

**Q** 町立病院の診療開始の増便はできないか。

**A** 副町長 当面、現在のバス便で対応できる。不具合がおきる時点で早急に対処する。



三原医院

**Q** 月2回の油屋地区での診療に、他地区からの受診は可能なのか。病院事業室長

**A** 可能である。

**Q** 農業活性化を目指すために、農業就業者の多様なニーズに的確・迅速に対応でき、営農相談や担い手育成対策などのあらゆる支援の窓口となる、総合的な機能をもった組織を新設できないか。

**A** 副町長 来年度に向け担当課とともに検討したい。

**Q** 近年、異常気象が続くなか、いづどこで起こるかも分からない災害に備え、消防団員と地

域住民が一体となり、合同防災訓練を年一回は実施すべきでは。

**A** 町長 良い提案だ。消防団が核となり、実施の方向で進めてほしい。

**問** 来年度予算への意気込みは

丸山達夫議員



**答** 100億円以内に圧縮しソフト事業優先

**A** 町長  
国の財政は破たん状況で、交付金の減額も予想され、ハードからソフト

**Q** 重点施策は何か。  
**A** 町長  
標準財政規模より30億円は膨張している。100億円以内に圧縮を考えている。

**Q** 国も内外に多くの課題を抱え、財源不足に苦慮している。本町の来年度予算は本年度対比、増か減か。  
**A** 町長  
トへ、町民の安心・安全の確保に、人的支援を考えている。

**A** 町長  
源流の里地域の宝として重要だ。トマトと和牛とぶどうの推奨と集落再編は農業の両輪であり、小規模法人も視野に入れ、これらを合わせ農業活性化

**Q** 農業の強化策は。  
**A** 町長  
T P Pへの参加は困難で、今後国を二分する大きな国論を想像する。食糧確保と水確保は、

**Q** 町単独の小規模法人の設立に、法人化支援補助金の町負担である半額を出せるのか。  
**A** 町長  
補助金には、20ヘクタールの基準があり、基準に満たない場合は検討が必要である。

**A** 町長  
町単独では無理であり、輸出論はひとつの提案である。

**Q** 農産物の輸出に対し町としての対応は。  
**A** 町長  
輸出論はひとつの提案である。

**Q** 帝釈峠遊歩道復旧整備を求める請願書が6,000人以上の署名を添えて提出されたがどう対応するのか。  
**A** 町長  
帝釈峠を核とした観光ルートや遊歩道復旧整備の手法を検討する。



和牛の里 繁殖牛

**問** 予防ワクチンの接種に公費助成を

寄定秀幸議員



**答** 医師会とも協議し早急に対応する

**Q** 女性と子供の生命と健康を守るため、子宮頸ガン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンなどの予防ワクチン接種の無料化を実施すべきだ。  
**A** 町長  
地元医師会とも協議して早急に対応したい。

**Q** HTLV-1(ヒトT細胞白血病)は重篤な成人T細胞白血病(ATL)や脊髄症(HAM)を引き起こす原因ウイルスだ。母子感染防止  
**A** 町長  
平成23年度予算に盛り込みたい。助成は受診券交付又は償還払いの両方で検討している。

**Q** 臭気指数規制が10月1日から施行となったが、大矢の産廃業者排出の煙や悪臭は一向に改善されていない、操業停止を含めた厳正な対応をすべきでは。  
**A** 環境衛生課長  
臭気指数が規制数値

**Q** 帝釈峠遊歩道復旧整備を求める請願書が6,000人以上の署名を添えて提出されたがどう対応するのか。  
**A** 町長  
帝釈峠を核とした観光ルートや遊歩道復旧整備の手法を検討する。

**Q** ①中・高一貫教育の基本構想と将来ビジョンは。  
**A** 町長  
①中・高一貫教育の基本構想と将来ビジョンは。

**Q** ②デイジー教科書の活用  
**A** 町長  
②弱視、LD、ADHDなどの児童・生徒に対して有効な教材であり、特別支援教育で活用すべきである。

**Q** ①中学校・高校の計画的継続的教育と油木高校の存続が目的だ。神石高原町中・高一貫教育検討委員会で検討中だ。本年度中に方向性を示す。  
**A** 教育長  
①中学校・高校の計画的継続的教育と油木高校の存続が目的だ。神石高原町中・高一貫教育検討委員会で検討中だ。本年度中に方向性を示す。

**Q** ②弱視、LD、ADHDなどの児童・生徒に対して有効な教材であり、特別支援教育で活用すべきである。  
**A** 町長  
②弱視、LD、ADHDなどの児童・生徒に対して有効な教材であり、特別支援教育で活用すべきである。



議会での現地調査(柏岩橋)

**問** 買い物弱者への支援は

村上克朗議員



**答** 源流の里対策などで検討

**Q** 政府は「買い物弱者」の解消に取り組み。県も医療や看護など高齢者対策に10月から県内3カ所の過疎地域で実証実験し、空き店舗の賃貸料や移動店舗に使う車両購入費を助成するが本町の対応は。

**A** 町長 この事業は3月までに事業完了が原則で繰越が認められない。設計査定期間も短いのでこれとは別な事業で対応したい。

**Q** 給食の宅配サービスを受けている人への買い物支援策は。

**A** 町長 買い物弱者対策は源流の里対策関連で検討する。

**Q** 忠原班での地質災害の状況と計画は。

**A** 町長 県道復旧工事は平成23年3月に完成する。ボーリング調査を8ヶ所実施、観測や地質調査を行い設計するので全体



福柙川大橋

**Q** 芳井油木線の道路改良と残土処理方法は。

**A** 建設課長 残土処理は全体で3万㎡で今年度1万㎡処理する。県道改良は災害と併せて要請中である。

**Q** ゴミ・し尿処理費軽減のための対策は。

**A** 町長 環境に優しいまちづくりを目指し、抑制・再利用・再資源化を推進。ゴミ処理業務の指定管理、民営化を検討する。

**Q** 運営委員会の創設は。

**A** 町長 今の状況では経費節減にも限りがあるが構想は持っている。

**問** 再生困難な源流の里対策は

木野山孝志議員



**答** 補助金から人的支援対策へ

**Q** 再生困難な源流の里対策は。

**A** 町長 ハードからソフトへ転換。補助金から人的支援へモデル地区を設け、担当職員を決めて支援したい。

**Q** 今後のまちづくりは一点集中なのか、各地区を優先するのか。

**A** 町長 対等合併だったのでゾーンに分け4つの機能で4地区が一体になったまちづくりを想定した

が、今後は条件によっては集中されると思う。

**Q** 豊松の三原医院が休院される。緊急を要する課題であるが対応は。

**A** 町長 医師の確保が出来ればカバーは可能。指定管理者の陽正会へも医師の確保に鋭意努めるようお願いしている。

**Q** 医師の確保が出来ていないので、訪問診療・訪問看護が不安だ。基本協定書どおりに行なわれていないが。

**A** 副町長 寺岡理事長と直に協議し、医師の確保に汗を流し成果を見せて欲しいと要請している。

**Q** 平成21年度の黒字分1700万円の精算は。

**A** 病院事業室長 政策医療交付金から差引き、現在約1580万円を渡している。

**Q** 地域発信型観光産業へ転換するために観光振興の「まちづくり計画」の策定を提案する。



集落支援委員と議会の懇談

**A** 町長 大変奥深く幅広い問題だ。理想とされるものは出来ないかもしれないが「計画書」は作成したい。観光施設の推進体制の充実を今後も図る。

**問** 新年度施策の柱は

瀬尾征爾議員



**答** ソフト事業へ移行

**Q** 3大プロジェクト（CATV・井関団地・統合小学校建設）が終わり、軸足がソフト事業に移行すると思われるが、新年度施策の柱は。

**A** 町長 3大プロジェクトとしてやってきたが、今後は運営管理となり、ソフト事業が中心となる。源流の里の維持再生は補助金から人への人的支援とする。自治振興会が中心となる協働のまちづくりの育成・強化を図る。

**Q** CATVを有効活用した安心・安全のくらしの確保、町立病院を核とした保健福祉の充実、定住対策も施策の核とする。

**A** 町長 すでに事業を立ち上げた源流の里にはアフターケアが必要だ。

**Q** 事業展開をしている地域の源流の里には出来る限りの支援をする。

**A** 町長 井関団地の完売目標は3年を目安に50区



荒廃地現地調査

**Q** 目標達成が厳しいのでは。

**A** 町長 販売促進にはいろいろと手を打つが、条件緩和・不動産業者への一括販売も視野に入れた戦略も構築出来るかと思う。

**Q** 農地荒廃が進んでいる。地域農業を守るには法人への組織化が不可欠だ。現行の補助金交付要綱では効果が少ない。将来を見据えた改正が必要では。

**A** 町長 法人への組織化は必要と思っている。補助金の交付などで町単独の小規模法人化を進めたい。補助金交付要綱の改正は必要と思っている。新年度に間に合わず。

**問** 人口増への対策は

藤田晃己議員



**答** 子育て支援・定住対策に取り組む

**Q** 本町の人口推移と人口増への対策は。

**A** 町長 今後とも減少は続く認識している。定住促進事業、少子化対策などその時の課題にそって地道に取り組む。

**Q** 井関定住団地販売への評価は。

**A** 町長 初年度の販売としては17区画は順調だと思っている。

**Q** 工業団地の整備は。

**A** 町長 小規模な団地を考えたもよい。

**Q** 新規就農者支援事業の継続は。

**A** 町長 経営状況を見ながら対応する。

**Q** 町の独自性を出すため保育料の無料化などを打ち出しては。

**A** 町長 昨年は三大プロジェクトもあったので出来なかったが、今年は町民の生活関連予算に軸足を置

**Q** 大学、専門学校生に奨学金制度を創設し町内で就職、就農者には返済免除する制度を考えたは。

**A** 町長 メリハリのきいた政策なら検討に値すると思う。

**Q** TPP（環太平洋経済連携協定）参加の場合、本町への影響は。

**A** 町長 基幹産業である水稲・畜産は壊滅的打撃を

き検討したい。

**Q** 農業法人の経営状況と、法人化への今後の取り組みは。

**A** 町長 米作主体の法人は厳しいと認識している。本町独自の小規模の法人も検討したい。

受ける。農業の衰退をまねき地域全体の活力が損なわれるので断固反対したい。



いずみ保育所発表会

**問** 日本国は大丈夫か

片山元八郎議員



**答** 国と地方のすみ分けをすれば再生できる

**Q** ロシア大統領の突然の北方領土訪問・尖閣諸島事件・ヨンビョン島攻撃などに対する政府対応は、主権国家とて言い難いものである。日本国は大丈夫と思われるか。

**A 町長** 政府の迷走の原因は鳩山前政権にある。菅政権は前政権の負の遺産を引き継いだ。民主党政権は、言葉が軽い。「国民の生活が第一」を掲げ、選挙目当て

のバラマキだ。民主党には綱領もなく、300余名の国会議員の考え方がバラバラである。国と地方の政治は、すみ分けが必要だ。生活関連の6割は財政を含め基礎自治体に任せ、外交・防衛は国が担う。

町長として11,500余の町民の生命・財産を死守することは当然だ。「国やぶれて山河あり」のことわざのように、政治のすみ分けをきちんとして

すれば再生は出来る。外交・防衛に関して地方からの発信は必要であると考えます。

**Q** 仙谷官房長官の自衛隊に対する「暴力装置」発言に対してどう考えるか。

**A 町長** 新聞報道などでは「赤い官房長官」とも書かれていたようだが、私としては言いくいし答弁できない。

**Q** 靖国神社参拝に対する考え方はどうか。

**A 町長** 油木町長時代も含め、これまで10回くらい

参拝している。なんの抵抗感もない。



三和統合小学校建設中

**問** 想定外災害に備えよ

小林 貢議員



**答** マニュアル化して対応する

**Q** 昨年8月、兵庫県で18人が死亡し2人が行方不明となった豪雨災害で、町の避難勧告の遅れが被害を拡大させたとして町に数億円の損害賠償を求める訴訟が起っている。

本町において、去る7月14日、仙養東自治振興会の忠原班でまさかの大雨害が発生した。人命への直接被害を回避できなかったことは、役場職員の適切な判断と指示、さらに関係者の敏速な行動は大いに

に評価されるべきだ。しかし、人命への被害がなかったから良かったでは済まされない。行政として、原因究明と対処した事等々検証し、住民から信頼され、安心・安全なまちづくりのため今後には備える必要があるのでは。

**A 町長** 大変な雨量が原因で大きな災害が発生した。人的災害がなかったことは不幸中の幸いである。災害対応については、



忠原地区地すべり災害

初期対応も不十分であったと率直に反省している。

基準値を超える災害については速やかに対策本

部を立ち上げるなど、マニュアル化して今後に備えたい。

地滑り地域という特殊な地域であり、調査結果もあると思うが、国・県へも出来るだけ早い復旧を強く要望している。

**A 建設課長** 豪雨に加えて、大変軟質な泥岩が砂岩の上にある地質が地すべり発生の要因にもなっている。

# 追跡 ありやあどうなった？

今はどうなっているか？追跡しました

## 元気に頑張る 新規就農者のみなさん

(順次ご紹介します)



西森正昭さん (豊松)



平郡みどりさん (豊松)



谷本和昭さん (油木)



鈴木聡さん (油木)

前回3人の方を紹介しましたが、引き続き4人の方を紹介します。(神石地区の松尾圭一郎さんは、現在病気療養中ですので復帰され次第紹介します。)  
皆さんそれぞれの分野で頑張っておられます。将来の神石高原町の農業の発展のため頑張ってください。  
また引き続き、新規の方が就農できるようにこの支援事業の存続と、新たな事業の展開を期待します。

## 新規就農者支援事業が

## 平成21年度よりスタート

(前号の続き)

## 今回の特集記事 どうなる神石高原町

## 「このままでは神石高原町は消えてしまう！」



ようがんばったで！  
「ごはん DE 笑顔プロジェクト選手権」決勝大会

油木高校産業ビジネス科「ミツバチプロジェクト」は危機感をもって出発しました。  
人口推計から、20年、30年後の我が町は消滅してしまうかもしれない。少子・高齢化に対し、儲かる農業の確立による町の存続を模索・検討した結果、ミツバチによる町の再生に至ったのです。  
耕作放棄地にレンゲを植え、ミツバチ舞う「人と自然が輝く高原の町」の再生を目指します。  
ごはんDE笑顔プロジェクト選手権決勝大会に挑んだ「ミツバチ姫チーム」(油木高校産業ビジネス科女子1年生)は実に明るく堂々と発表しました。  
惜しくも、優勝は逃しましたが審査委員長から高い評価をいただきました。

# クイズの回答とともに寄せられた

# “まちの声”

○町民の代表者として議員の皆さん頑張ってください。

(61歳・男性)

○子どもから高齢者まで、誰もが住みやすい町「神石高原町」になってほしいと願っています。

(57歳・女性)

○子どもが急病のとき受診してもらえ体制がしっかりあると安心です。

(33歳・女性)

○ぼくの好きな神石が良い町になるよう考えてください。

(7歳・男子)

○サルに大根食われ、イノシシに芋を掘られ、腹の立つ毎日です。腹が立っても体に悪いから議会クイズ考えて、頭を切替したほうがいいかな。

(86歳・女性)

○小畠方面行きバスが朝の早便がありません。花や谷まで歩いてでない早いバスに乗れません。病気の時とか足が痛いときにはとても困ります。歩かない時はタクシーを使うしかありません。高齢者なので病気の時には困っております。何とかありませんでしょうか。

(84歳・女性)

○集落支援制度について見直してほしい。おでかけタクシーを復活させてほしい。

(82歳・女性)

## 第7回 議会クイズ 解答

- ① 黒字
- ② かがやき
- ③ 新規
- ④ テスト
- ⑤ 豊松

ご応募頂きありがとうございます。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1,000円分のやまなみ商品券をお贈りします。

### 第7回クイズ当選者

- 三和地区 高橋 阿誠さん
- 油木地区 三原 郡二さん
- 三和地区 貞永 秀子さん
- 神石地区 佐藤 博子さん
- 神石地区 佐藤 菊枝さん
- 三和地区 貞永 秀子さん

(順不同)

## より読みやすい 議会広報誌をめざして

宮崎県高千穂町・福岡県新宮町に視察研修

11月9日～10日

高千穂町議会だよりは全国町村議会で連続して優秀賞に輝かれており、読みやすく身近に感じる広報誌を毎回発行されています。

「編集時に特に心がけていること」について、記事の割合、記事の5行改行、見だしの書き方など意見交換しました。新宮町議会では、「議会活性化特別委員会」を

設置し、議会報告会の開催や政治倫理条例の改正など、より開かれた議会活動を目指して多くの取り組みをされています。議会広報の編集では、印刷会社と同じ印刷ソフトを持ち合い、相互に編集校正を行っていました。2つの町議会で学んだことを取入れ、より読みやすい議会広報誌の編集に取り組みます。



11月9日 高千穂町議会にて

# 元気なグループ紹介



完成した「かるたとカレンダー」を持って

高蓋地区を発展させる会

私たち高蓋地区「木津和・高蓋・父木野」を発展させる会は、地区の文化を中心として発展させていこうと意思統一。地区内約四〇〇戸に参加いただき、評議委員と役員で年間行事計画に従って運営しております。

本年は、高蓋地区の文化・歴史・伝統行事に限定した「かるた・カレンダー」を作成しました。先人達が日々生活していく中で生まれた文化・歴史・伝統行事の素晴らしさを、子や孫たちに継承・発展させるには、今一度自分たちが宝の山を掘り起こすことが大切と再認識いたしました。

この地区に五〇年住んでいるおばあさんも、「へえ、こんな処に？こんな謂れがあるの？はじめて知った、いつペン行ってみようかな」と感じしきり。

まさに温故知新です。私たちもこの事業に取り組むことにより、心を耕されるとともに、人間にしか出来ないことを行える幸せをかみしめています。

話題を提供することにより、少しでも地区が元気になればと願っています。

## 第8回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

- ①輝く笑顔！〔〇〇〇〇姫チーム〕
- ②〇〇の視点で 農業活性化を
- ③一般質問 問・〇〇地区の解消を
- ④一般質問 問・予防〇〇〇〇の接種に公費助成を。
- ⑤元気なグループ紹介 〇〇地区を発展させる会

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。正解者多数の場合は抽選で5名の方に1,000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募はお1人・1通に限定させていただきます。

《あて先》

〒720-11522 神石高原町小島二〇二五  
神石高原町議会事務局  
「第8回議会クイズ係宛」

《締め切り》

2月8日(火) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年は、民主党政権の団結の無さと決断力の無さが国内外に影響を及ぼした年でした。

また、国内の経済不況からみ学生の就職率が過去最低であり、深刻さを増し国民生活に大きな影響を及ぼしています。

一段と進む少子・高齢化、限界集落の多い本町において、町独自の施策を打ち出し、住民が安心安全に、また幸せに暮らせる町を目指すべきだと考えます。

終わりに皆様にとりまして最良の年になりますようご祈念申し上げます。  
(橋)

- 議会広報広職調査特別委員会  
委員長 寄 定 秀 幸  
副委員長 寄 定 秀 幸  
木野山 孝 志  
小川 清 治  
橋 本 輝 久  
横 尾 正 文

■住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340  
FAX 0847-85-4201